

令和7年2月学校評価について

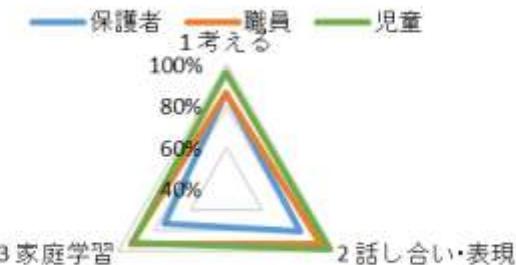
令和7年2月17日

令和6年7月学校評価アンケート結果(令和6年2月との比較)							
肯定的回答の割合							
	評価内容	保護者	職員	児童			
		R6.7	R7.2	R6.7	R7.2	R6.7	R7.2
自分で学ぶ子ほどもん	1 考える	93%	86%	92%	86%	98%	96%
	2 話し合い・表現	96%	81%	92%	93%	96%	98%
	3 家庭学習	80%	74%	92%	93%	90%	92%
りを感する子で思ふもつ、て思い動や	4 あいさつ	87%	81%	75%	79%	94%	94%
	5 言葉づかい	83%	77%	100%	93%	98%	90%
	6 思いやり	98%	91%	100%	93%	96%	100%
ん体で働きくた子え、ども進	7 遊び・運動	87%	81%	100%	100%	98%	96%
	8 生活時間	54%	44%	58%	57%	90%	88%
	9 仕事・掃除	85%	84%	92%	100%	100%	98%
学校の取組	13 施設管理	96%	91%	92%	93%	100%	100%
	10 情報発信	98%	81%	92%	93%		
	11 授業	100%	95%	100%	100%		
	12 対応	98%	95%	100%	100%		
	14 安心・安全	100%	88%	100%	100%		
	15 満足感	98%	91%				



I 「自ら考え、進んで学ぶ子ども」について

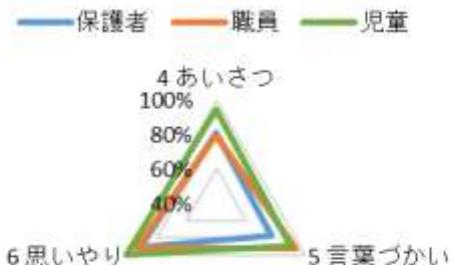
自ら考え、進んで学ぶ子ども



- 児童の評価は、前回とほぼ変わっておらず高くなっている。
- △「考える」に関しては、保護者・職員ともに下がっている。
- △家庭学習に関しては、保護者の評価のみが下がっている。
- △「話し合い・表現」も保護者のみ15%下がっている。
- ・学校での通常学習の姿が保護者には見えにくい点もあるため評価が下がっていることも考えられる。
- ・家庭学習については、保護者のチェックを行ってもらうなど意識付けを行っていく必要がある。また、家庭での学習開始時刻と時間を児童・担任と共有し確認するなどの意識付けを行う機会を設けたい。

2 「共感し、思いやりをもって行動できる子ども」について

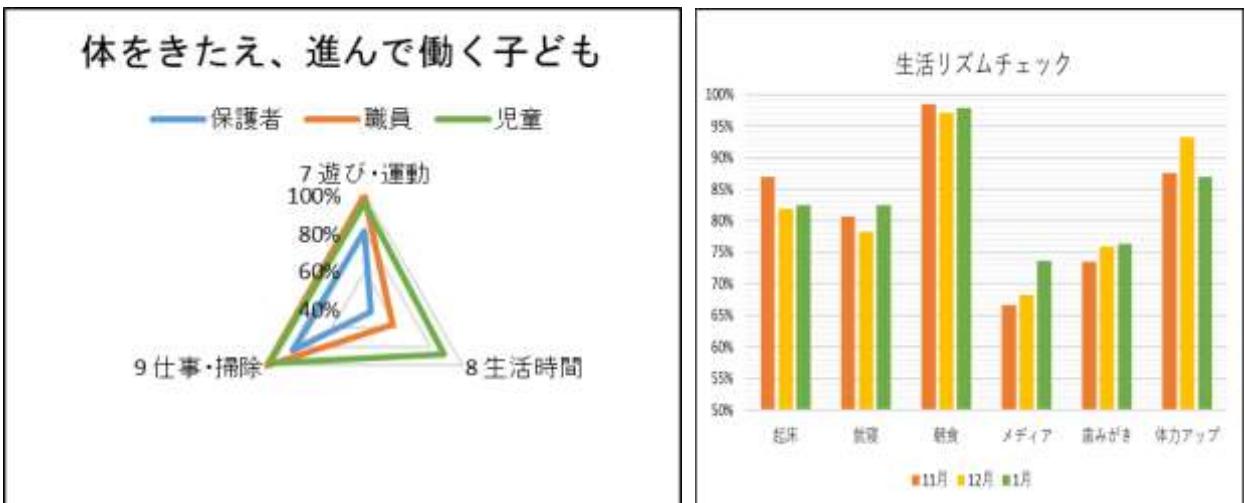
共感し、思いやりをもって行動できる子ども



○肯定的な評価が多く良好ではある。

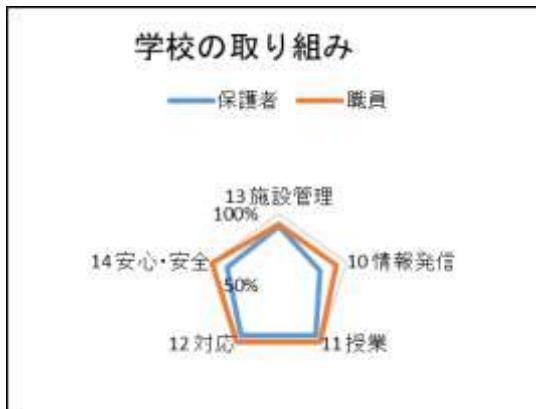
- ・「あいさつ」に関しては、まだ改善する余地があり、今後も家庭・学校で継続的に指導していく必要がある。
- ・「言葉遣い」に関しても前回同様、保護者の評価が低い。学校以外の場面で気になる言動があると考えられる。

3 「体をきたえ、進んで働く子ども」について



- ・「遊び・運動」「仕事・掃除」に関しては、良好な評価である。昼休みも運動場で遊ぶ児童がほとんどである。一方で社会体育への参加率は低く、学校体育の運動体験だけの児童が多い。また、休日の過ごし方がメディア機器の使用が多いため保護者の評価は低い。
- ・「生活時間」は、依然として課題が見られ、生活リズムチェックからも起床・就寝時刻、メディアの使用時間等で課題が見られる。多良木町の地域学校保健委員会でも生活時間について保・小・中・家庭・行政の連携の取り組みを行っているが、もう一步である。

4 学校の取組について(保護者)



(保護者より)

「満足度の評価理由」

- ・皆が仲良く、楽しく過ごせるように思います。安心して通わせて頂いてます。
- ・皆仲良くて、雰囲気もいいと思います。先生方も一人一人をよく見てくださっていてありがとうございます。
- ・学習への指導や学習以外への対応がよく行き届いている。人数が少ない学校のメリットだと思う。
- ・学校に行くことが楽しい様子から
- ・一人ひとりに合った指導をして頂けるところ。
- ・一人ひとりに合った指導をして頂けるところ。
- ・不登校の子供達を気にかかられるのはわかりますが…毎日登校できている子供達に悩みや心配がないわけではありません。授業の進める速さや宿題の状況もしっかり見て頂きたいです。少人数だからこそその辺りに安心感を持っていましたが、不登校の子供達も増え日々不安感を抱えています。学年によって違うことも考えて頂きたいと思います。
- ・一律ではなく個人別に対応いただいて感謝しています。
- ・以前に比べて挨拶ができるようになりました。
- ・人数が少ないので、先生とも近く話しやすい
- ・日頃の先生方の子ども達や保護者に対しての対応に温かさを感じます。授業も解りやすく楽しく学べています。また行事等で子ども達皆がどうしたらスムーズに迷いなく楽しく参加できるか等いつも配慮をして頂いているのを感じ有り難く感じています。

「自由記述」

- ・学校に対しては満足しているが、人数が少ないため、色々な友達と遊ぶことができないのが、少々寂しいような気がする。
- ・朝、早すぎるくらいに学校に行くので楽しいんだろうなあと思っています。
- ・5年生にもなると学校のことを話さないことがあります。なのでわざと2人になるタイミングをつくり話をしています。
- ・自分の思いを誰かに伝えて一つ一つを1人で悩まず解決して行って欲しいです。少人数だからこそ先生方との信頼関係を構築して欲しいと思います。

- ・学校であったことを交換ノートを活用して聞き出しています。今とても難しい年代だと私たち親も感じています。宿題も不安や心配が多いとなかなか手につきません。子供の様子をよく見て学校にお伝えできることはお伝えしていきます。
- ・行事の日時(特に時間)をもう少し早めに教えてほしい。休みが取りづらい。
- ・以前のように挨拶運動は実施したほうがいいと思います。
- ・少し気持ちが落ちついてきた様に感じています。
- ・久米小学校は子ども達が少ないですが、少ないだけに学校の友達の事をお互いに知っていて仲良しで、会話や行動にお互いに思いやりの気持ちを感じます。少人数の小学校の良さを感じます。

(総括)

- ・保護者からの学校への評価は高いが、前回より下降している。不登校児童・不登校傾向児童が増加したことが関係していると考えられる。校内の不登校対策委員会の定期的実施、組織としての対応を行うと共に保護者との連携、外部専門機関との協力しながら、それぞれの児童に対して最善を尽くしている。関係する学級児童に対しても担任を中心とし校長・教頭・養護助教諭もフォローに入っている。
- ・施設の老朽箇所もあるが児童の安全を確保し、安心して学習できる環境を整えている。修繕が必要な箇所も教育委員会と連絡を取りながら対応を行っている。
- ・次年度、5・6年生、3・4年生が複式学級となることから、本年度、担任の授業力向上と児童の学びに向かう力の向上を目指して取り組んできている。少人数ではあるが、ICT機器も活用しながら個別最適な学びと協働的な学びの一体的な推進を図っていく。